

2023年6月9日

各位



## 商船三井と東洋建設が洋上風力発電事業に関する合弁会社の設立に係る契約を締結

株式会社商船三井（社長：橋本剛、本社：東京都港区、以下「商船三井」）および東洋建設株式会社（社長：武澤恭司、本社：東京都千代田区、以下「東洋建設」）は、2023年6月9日、合弁会社の設立に関する契約を締結しました。

両社は、2022年2月21日にプレスリリースした「[洋上風力発電関連作業船の協業検討に関する覚書](#)」に基づき、洋上風力発電事業の協業について検討および協議を重ねた結果、このたび合弁会社の設立に至りました。

今後は合弁会社を通じ、洋上風力に関する調査計画・作業船調達や海上工事などの幅広い分野において、両者によるより強いシナジーを発揮し、具体的かつスピーディーに事業の確立を目指します。

商船三井が長年積み重ねてきた船舶の建造・保有・運航における豊富な実績と、東洋建設が有する海洋工事の豊富な知見・人材および洋上風力発電に関する技術開発力を組み合わせることで、国内外で増加が見込まれる洋上風力発電事業における作業船需要に応え、今後、再生可能エネルギーの切り札として期待される洋上風力発電事業の幅広い事業領域における要望にお応えするエンジニアリング&ソリューションカンパニーとして、バリューチェーンに広く貢献してまいります。

### （参考）合弁会社の概要

設立予定日	2023年6月
資本金	設立時5百万円
株主	株式会社商船三井 50%、東洋建設株式会社 50%
事業内容	洋上風力発電事業に関連する海上工事のエンジニアリング及び施工、これに関連する各種作業用船舶の調達及び運航、並びに、その他洋上風力発電に関連する各種事業
その他	資本金の額の上限は、両当事者が別途合意する場合を除き、400億円とする

以上

### 商船三井について

商船三井は 1884 年設立で、約 800 隻の船隊を運航する外航海運業を中心に、様々な社会インフラ事業を展開しています。海運業界では一早く 2050 年までのネットゼロ・エミッション達成を掲げ、風力事業を始めとした GHG 排出削減にグループを挙げて取り組んでいます。詳細は [www.mol.co.jp](http://www.mol.co.jp) をご覧ください。

### 東洋建設について

東洋建設は 1929 年の設立以来、作業船を使用した多くの海洋工事の実績を国内外で有する国内トップクラスのマリンコントラクターです。また、洋上風力を経営上の成長ドライバーに掲げ、着床・浮体式の技術開発や設備投資に注力しています。詳細は <https://www.toyo-const.co.jp/> をご覧ください。

### 問い合わせ先

#### 株式会社商船三井

コーポレートコミュニケーション部メディア広報チーム

電話 03-3587-7015

#### 東洋建設株式会社

経営管理本部広報部

電話 03-6361-2691